



一中だより

学校教育目標
自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

「和」

校長 岡島 一恵

先月29日は本校体育祭でした。ここ数年大切にしてきた学年を超えた縦割りの団を編成して臨む体育祭実施に当たって、今年度中心となってリードする3年生が他学年より1学級少ない4学級だったため、3年生は、学年を5団に分けての取組となりました。学級でない編成での取組に多少の心配もありましたが、体育祭までの生徒たちの頑張り、当日の一生懸命に競技や演技に臨む様子、何よりも体育祭後の学級へ帰った時の雰囲気は温かく、学級を超えた学年の「和」が作り出された体育祭となりました。3年大縄競技の際には、学年主任の〇〇先生と各団の団長たちがラグビーの伝統的舞踊である「ハカ」を披露してくれました。試合終了後は敵



味方の垣根を超え、お互いをリスペクトし合うラグビーのノーサイドの精神が、今年の3年生の取組と重なり胸がいっぱいになりました。勿論、そんな3年生に後輩である1、2年生も懸命に付いていく様子やそれぞれの課題を克服しようと頑張る姿が見られ、各団の一体感が感じられた、そして、それぞれが成長した、とてもいい体育祭となったと自負しています。

また、当日は猛暑が予想され、熱中症等の心配もあったことから、近隣の小学校、高等学校に御協力いただき生徒の応援席へのテントを設営しました。数か所に渡ってテントを借りに行った職員の働きも然ることながら、保護者の皆様の多くの御協力の手によって片付けまでスムーズに行うことができました。当日までには、校地内の花植えや除草作業など、本校職員や生徒の委員会活動に加え、ボランティアを募っての親師会活動により、環境整備を行っていただき、多くの御協力により当日の開催を迎えることができました。当日は大変暑い中ではありましたが、来賓の方を含めた多くの方に御参観いただき、歓声と



拍手により、体育祭を一層華やかなものにしていただき

ました。一中が多くの方の想いによって支えられている

「和」を実感するとともに感謝の気持ちでいっぱいになりました。大変ありがとうございました。

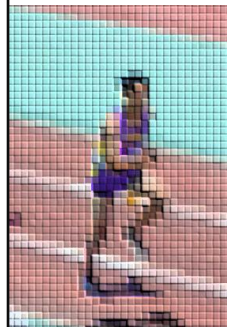


令和8年度教科書展示会の開催について 期間：令和8年6月12日(金)～6月25日(木) 午前10時～午後5時
展示会場：川越市立教育センター4階教科書センター ※1階昇降口からお入りください。
※ 埼玉県教科書展示会会場一覧は、<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/902-2009128-94.html> 内に掲載されています。

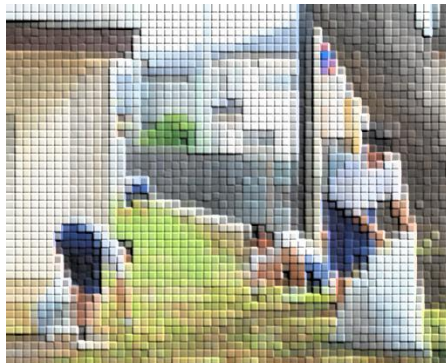
花植え活動



去る5月14日、15日に市内通信陸上大会が行われ、一中の生徒も大奮闘しました。今月には、学校総合体育大会が実施され、運動部所属の3年生は最後の大会となります。



除草ボランティア



5月の学校朝会で本校の開校記念日について次の様な話をしました。参加した生徒全員にクロムブックで感想を寄せてもらいましたので、その一部を紹介します。

今月12日には、開校記念日が設けられています。開校記念日のある今月、皆さんには、本校が紡いできた歴史と伝統について考え、そして、自分は何をすべきかを考えてほしいと思っています。校長室には、10年ごとの節目につくられた本校の記念誌が保管されています。ページをめくると、終戦後の昭和22年に本校は開校し、その後、戦後の混乱と貧困の中で、理想の実現に向け渾身の一步を踏み出して以来、地域、保護者の方々、お勤めされた教職員、そして、1万5千人を超える卒業生たちの多大な労苦や努力の積み重ねによって、川越第一中学校の誇り高い歴史と伝統が築かれ、今に伝えられてきたことが分かります。昭和32年には、校歌が制定されました。校歌に謳われている歌詞からも、本校の歴史の重さを感じられ、また、強弱やリズムの変化に富んだ曲調は強い向上心を、朗々と歌い上げる最後の部分は愛校心の深さを表現しているようで、私は、歌うたびごとに本校の歴史と伝統を次代へ引き継ぐとともに、更に発展させていく責務を感じ、背筋がピンっと伸びる思いになります。

80周年という記念すべき年に、この学校に在籍している皆さんには、バトンの担い手であると同時に、歴史の「目撃者」となり、新しい時代の「創り手」となってほしいと思っています。自分たちの学校を、自分たちで更に輝かせていくために、本校学校教育目標の「自主」により、どうあるべきなのか考えてそして行動してほしいと思っています。

学校の長年の歴史について、改めてすごいと思った。自分たちは、80周年の節目の年で体育祭や合唱祭が全て中学校生活最後になるので、一つ一つに責任を持って取り組んでいきたいです。また、自分が人に言われて行動するのではなく、自分から行動していきたいです。
3年3組生徒

今日のお話で「開校80年」という言葉を聴いて、改めて、記念すべき年を繋いでゆく生徒となったからこそ、その責任の重さを感じることができました。記念すべき年の生徒として、一中の伝統を受け継ぎつつ、学校教育目標「自主」「練磨」「敬愛」の精神をもとに日々の学校生活で己を琢き、成長させてゆく一年にしていきたいと思いました。
2年4組生徒

校長先生の話聞いて、どんな小さなことでもいいから、みんなのためになることを考えて行動してみたいなと思いました。例えば、机が線からずれていたら、自分から直してみたり、給食で、すぐに片付けられるように準備しておいたり、誰もやっていないことがあったら、自分が進んでやったりするのを、これから、意識して生活していきたいなと思いました。
1年2組生徒

一中ができてから80年。そんな歴史の節目にこの学校に通えていること、これにどんな意味があるのか考えさせられるお話でした。長い歴史や今までに思いをはせ、この学校の教育目標などからどんな人になるべきか考える機会にしていきたいなと思いました。また、学校の歴史はもちろん今までここで過ごした2年と少しの年月も思い返し、これまでの反省や成果をこれからに活かしていきたいです。
3年4組生徒

より良い学校、クラスにするために私達に何ができるかについて、私は一中スタンダードを徹底することも大事だと思いますが、どんなことでも自主的に行動することも大事なかなと話聞いてて思いました。クラス全体に声をかけたりクラス以外にも二年生として後輩の鏡になるような先輩になり3年生を支えることもできる2年生になればなと思いました。
2年3組生徒

この川越第一中学校ですっと受け継がれてきた、自主、練磨、敬愛を、自分も毎日身近なところで意識して生活していきたいと思いました。開校80年という大切な節目に入学してきたことに誇りを持ち、これから入ってくる後輩たちなどにもしっかり受け継いでいきたいです。
1年1組生徒